

各位

上場会社名 MUTOH ホールディングス株式会社
 代表者 代表取締役社長 磯邊 泰彦
 (コード番号 7999)
 問合せ先責任者 経営管理部長 福富 弘悦
 (TEL 03-6758-7100)

通期業績予想の修正並びに配当予想(増配)に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期の通期連結業績予想について 下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。並びに、本日開催の取締役会において、未定としておりました2022年3月期の期末配当金の1株当たりの配当について、下記の通りとすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想について

2022年3月期通期連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,000	320	420	500	109.72
今回発表予想(B)	16,000	420	600	680	149.13
増減額(B-A)	0	100	180	180	
増減率(%)	0.0%	31.3%	42.9%	36.0%	
(ご参考)前期通期実績 (2021年3月期通期)	14,151	△ 564	△ 291	△ 1,200	△ 263.62

修正の理由

当社グループを取り巻く経営環境は、オミクロン変異株による新型コロナウイルス感染が世界的に収束の見えない状況にあり、また、半導体を中心とした電子部品の不足、原材料価格の高騰などサプライチェーン問題の長期化が顕在化しております。

このような状況の中、当社グループは、大判インクジェットプリンター「XpertJet」新シリーズと自社RIPソフト「VerteLith」、自社製インクのラインアップ拡充により、お客様のニーズに応え、収益力の向上に注力した結果、通期業績は前回予想を上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

売上高は、生産供給活動に不安定な状況が続いておりますが、臨機応変な代替措置によりリスク回避に努め、前回予想を据え置いております。

営業利益並びに経常利益については、開製販の革新による収益力の回復、継続的な原価低減施策、適正在庫運営、固定費の抜本的見直しなどキャッシュ・フローを重視した施策を推進し、原価率の改善、費用削減に加え、為替環境の良化が継続していることもあり、前回予想を上回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、営業利益及び経常利益の改善により、前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、半導体をはじめとする電子部品の不足、原材料価格の高騰、オミクロン変異株による新型コロナウイルス感染再拡大の懸念など、不安定な要素が多く、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。通期為替レートについては、1USD：111円、1EUR：130円としております。

● 配当予想について

1. 配当予想の理由

当社は、業績に応じた配当を継続的かつ安定的に実施できる体制を構築することを基本方針としております。景気の動向および経済環境や市場から注目される諸指標等にも目を配りながら、今回、株主の皆様のご支援にお応えするため、未定としておりました期末配当予想を修正させていただくことにいたしました。

また、当社は 2022 年 3 月 5 日に創立 70 周年（創業 80 周年）を迎えます。これを記念するとともに株主の皆様への感謝と今後も引き続きご支援を賜りたく、2022 年 3 月期の期末配当金には、創立 70 周年記念配当を加えさせていただくことにいたしました。

つきましては、2022 年 3 月期の期末配当金は、1 株当たり 30 円の普通配当に、1 株当たり 5 円の記念配当を加え、合計 35 円とさせていただく予定です。なお、本件につきましては、第 73 回定時株主総会に付議する予定であります。

2. 配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 発 表 予 想	—	—	—
今 回 発 表 予 想	—	35.00 (普通配当:30.00) (記念配当:5.00)	35.00 (普通配当:30.00) (記念配当:5.00)
当 期 実 績	0.00		
前期(2021年3月期)実績	0.00	30.00	30.00

以 上